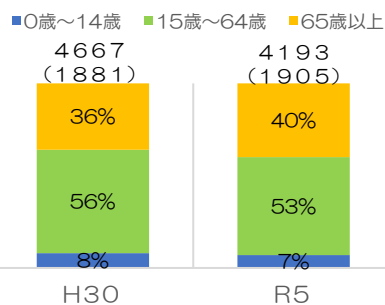


横山 校 区

人口の推移 (かっこ内は世帯数)



ボランティア	いきいきサロン		
--------	---------	--	--

地域の基礎データについては、市社協が定める活動計画の効果評価を確認するための指標として設定する

地域活動の様子

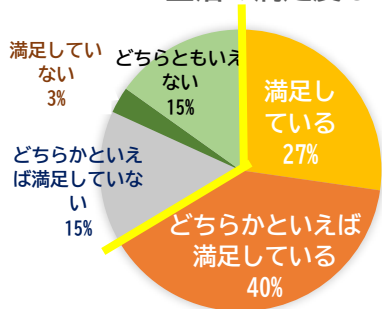
「 写真 」

「 写真 」

「 広報誌 等 」

ふくしアンケート結果 (抜粋)

生活の満足度 67%



こんなまちだといいな	
1. 買い物が便利なまち	
2. 困りごとの相談窓口がわかりやすいまち	
3. 住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生・中学2年生)
1. 放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	1. 自由に使える友だちとのたまり場
2. 高齢者の経験や強みを活かせる居場所	2. 思いっきり遊べる広い公園や広場
3. 子育てを応援してくれる居場所	3. 雨でも遊べる場所
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生・中学2年生)
1. 子どもの登下校の見守り	1. 年下の子ども遊び相手をしてもらって面倒をみる
1. 地域や世代を問わない誰もが食を通じて集えるみんな食堂	2. 赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2. 高齢者の地域での身守り訪問	3. 年下の子ども勉強をみたり話し相手になる
2. 高齢者の交流の場づくり	

第4次地域福祉活動計画の振り返り (H31年～R5年)

コロナ禍で住民同士が集えない日々が続く、協議の場等の話し合いを進めることが難しかった。5か年の活動を振り返り、今後地域で話し合いたいこととして活動者から以下のような意見が出ました。

【今後話し合いたいこと】

- ①災害時の具体的な避難手段や支援のマニュアル化について
- ②ひとり暮らしの方の避難誘導について
- ③どうすれば住みやすいまちになるかを考える
- ④今後の担い手、参加者が見つからないことへの校区としての取組みについて
- ④交通の便が悪いことや買い物が不便なことについて

横山校区の活動テーマ

老若男女がつどえる田舎まち横山

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 ひとりひとりが地域づくりに参加するまちづくり

【具体的な取り組み】

- 男性も参加しやすいサロン（交流の場）活動を行い、男性ボランティアを増やす
- 学校やPTAとの連携も考え、様々な世代の人のアイデアを生かしたイベントを開催する
- 子どもの登下校の時間帯に併せた健康づくりウォーキングを推奨する

重点取り組み②

【目 標】 災害に強いまちづくり

【具体的な取り組み】

- 隣近所のお付き合いを大切にし、顔の見える関係を継続する
- 防災マニュアルを家庭でも地域でも身近になる取組みを進める
- 地域に合った防災訓練や研修等を行い、減災の取組みを進める

重点取り組み③

【目 的】 暮らしやすいまちづくり

【具体的な取り組み】

- 話し合いの場を継続させる
- なんでも相談会を定期的を開催し、住民自身が助けを求める（受援力）をつけよう
- 横山のあたらしい支え合いの形を考えていこう

校区社協、町会、民生委員児童委員、更生保護女性会、地域包括支援センター、CSWなどが集まり話し合いました

